

コンピュータサイエンス
英語プログラムについて
コンピュータサイエンス専攻
(博士前期課程)

高橋大介

コンピュータサイエンス英語プログラム
推進室

コンピュータサイエンス 英語プログラムとは

- CS専攻(博士前期課程)において, 英語だけで修士の学位を取得することができるプログラム.
- 文部科学省の「国際化拠点整備事業(グローバル30, G30)」により, 平成23~25年度に開設された「計算科学英語プログラム」の授業科目をコンピュータサイエンスの全ての分野に拡充して名称を変更.
- 英語で講義を行う専門科目が14科目
- <http://www.cs.tsukuba.ac.jp/cse/>

カリキュラム(1/2)

- 専門科目(コンピュータサイエンス英語プログラム)
 - 数理アルゴリズム特論(2単位)
 - 数値シミュレーション特論(2単位)
 - 基礎計算生物学(2単位)
 - プログラミング環境特論(2単位)
 - データ工学特論I(2単位)
 - 高性能コンピューティング特論(2単位)
 - Introduction to Computational Neuroscience for Engineers(1単位)
 - Experiment Design in Computer Sciences(2単位)
 - 統計分析(2単位)
 - コンピュータサイエンス英語講義I~III(各1単位)

カリキュラム(2/2)

- 大学院共通科目
 - 計算科学リテラシー(1単位)
 - 計算科学のための高性能並列計算技術(1単位)

履修方法

- 共通科目の3科目12単位(必修)及び専門科目のうちから18単位以上を履修し, 計30単位を修得すること. なお, 研究科内で開設されている科目(大学院共通科目を含む)はすべて専門科目とし, 特に制約は設けない.
- 他研究科において履修した科目(大学院共通科目を含む)は, その10単位までを課程修了に必要な修得単位に含めることができる. ただし, 事前に指導教員及び専攻長の上承を得るものとする.
- 修了要件は, 計30単位以上を修得し, 修士論文の審査及び最終試験に合格することである.

修了認定方法

- CS専攻博士前期課程の修了要件を満たした上で,
 - 専門科目(コンピュータサイエンス英語プログラム)
 - 大学院共通科目
 - 計算科学リテラシー
 - 計算科学のための高性能並列計算技術

の科目のうちから10単位以上を修得した者は、計算科学英語プログラム修了の認定を行い、修了証書を発行する。

- 想定される単位取得方法
 - 2単位×5科目
 - 2単位×4科目+集中講義(1単位)×2科目
 - 2単位×3科目+集中講義(1単位)×4科目

履修方法

- TWINSから「計算科学英語プログラム」の科目を履修登録する.
- 以下のメールアドレスに, 学籍番号, 氏名を送ることで, 「コンピュータサイエンス英語プログラム」の在籍者として登録される.

s-g30@cs.tsukuba.ac.jp

- もし, コンピュータサイエンス英語プログラムの単位を10単位以上取得できない場合は, 修了証書が発行されないだけで, 一般コースの学生と同じ扱いになる.